

すくすくおもちゃだより 9月



逆瀬川あゆみ保育園 子育て支援すくすく 本号由香

2026.9.3

地階すくすくルームには、0～3歳頃のお子さんの発達に合わせた玩具を、沢山取り揃えています。今年度はこのおたよりにて、すくすくで人気の玩具を一部、紹介していきます。また私事ですが、東京おもちゃ美術館の『おもちゃコンサルタント』の資格を取得しましたので、その際に学んだ事や聞いた話をひとことコラムとして少しお伝えしたいと思います。



ピックアップコーン

高齢者リハビリ用に開発された玩具ですが、指先を使う事で子どもにも適した玩具となっています。6色の円錐型のピースは赤から水色へ向かうほどに、直径が広くなり、つかみにくなっています。指先の筋力やコントロール能力を育ててくれます。大人はなかなか掴めませんが、子どもはさらっと掴める事が多く、それは雑念がないからだという説明書きもありました。



フォームス

○△□の基本の形をはめ込むパズルです。まだ指でつまむ事が難しい年齢でも、手のひらで掴んでのはめ込める事ができます。パズルの一番初めのスタートにお勧めです。また、形にはめ込むだけでなく、それぞれの形を重ねて積む姿もあります。さらに、色がハッキリしているので、色を言って楽しむ姿も見られます。



スピニアゲイン

カラフルな大小のディスクをスクリー状の支柱に差し込む事で、ディスクがクルクルと回転する事を楽しめます。思うよりも早い回転で、ついつい繰り返し楽しみたいくなります。下の土台は抜く事が出来る為、支柱からディスクが回転しつつ飛び出る様子も楽しむ事もできます。ディスクが少し太いため、最初に入れるのは難しいですが、徐々にコツを掴むと入れられるようになります。

ひとことコラム ～パズルについて～

皆さんは、パズルと聞くとどんなイメージを持たれますか？私の中では、一人で黙々とはめて遊ぶもの、というイメージでした。しかし、国によっては『パズルは家族でするもの』という考えがあるそうです。一緒にする事で、会話が弾みパズルが【コミュニケーショントイ】になるようです。そのように、玩具がコミュニケーショントイになるのはとても素敵な事で、日本でも個々で楽しむものから、みんなで楽しむものに変わるといいな、という話がありました。ちなみに、すくすくには様々な種類のパズルを取り揃えています。もちろん、個々で楽しむのも良しですが、子どもが一緒にしよう！と伝えてきた時は、一緒に楽しむものいいですね。また最近すくすくでは、魚つりとパズルがセットになった玩具が人気で、親子の会話も弾んでいるのを見かけ、嬉しくなります。釣れる楽しさ、魚の名前を言う楽しさ、釣った魚を並べる楽しさ、そしてはめる楽しさ…色々な楽しさを、親子で一緒に楽しむ姿があり、とても微笑ましいです。

